



祭りの
この街の
心意気

富岡八幡宮大祭奉納金御芳名

豊洲陸会長

佐伯 仁さん

職業は消防士ですが、その傍らで豊洲陸の会長として地域の様々なイベントで活躍されています

新しい街として注目を集める一方で、江戸・深川に連なる伝統も受け継いでいます。

マンションや商業施設が次々に造られ、新しい街として注目を集める豊洲。歴史が浅く、伝統と結びつかないかもしれませんが、「深川からすぐの豊洲には、江戸・深川の伝統と心意気が伝わっています。それを受け継いでいきたい」と話すのは豊洲陸会長の佐伯仁さん。

豊洲陸は豊洲町会の青年部的な存在で、餅つき大会から盆踊りまで様々なイベントで活躍しています。なかでも力を入れているのが、江戸三大祭りの一つで富岡八幡宮で行われる深川祭りです。

「豊洲の町は富岡八幡宮の氏子町会であり、豊洲での祭礼事に関する運営が豊洲陸の大事な役割です。今年の深川祭りは3年に一度の例大祭で、大いに盛り上がりました。神輿を担

ぐ練習にも、昔から住んでいる人豊洲に住み始めて間がない人、豊洲で働いている人、多くの人が参加してくれました。担ぐ人のために約100枚の半纏を作りましたが、すぐに売り切れました」と話す佐伯さん。例大祭当日には、約600人もの方が豊洲の神輿の担ぎ手として集まったとのこと。

「祭りのような良き伝統を楽しみながら受け継ごうとする事で新しい人も興味を持って来てくれるのでは。豊洲には人を大らかに受け入れる江戸・深川の懐の深さがあると嬉しいです。大いに楽しみながら地域の伝統・心意気を伝えていきたい」と語る佐伯さんの言葉に、豊洲の新たな魅力に気づかされました。



子供神輿。深川祭りといえば・・・伝統の水かけです！



深川祭りの大人神輿。大勢の人が神輿を担いで練り歩きます。2017年は3年に一度の例大祭で、大いに盛り上がりました。

「がんの専門知識を持った友人がいる家
「マギーズセンター」を日本で初めて設立

秋山正子さんは2008年に英国のマギーズセンターを知ります。マギーズセンターは、がん治療中であった故マギー・ジェンクスさんの「がんの治療中であっても、患者ではなく一人の人間として自分を取りもどせるような家庭的な場と、医療的知識のある友人のような看護職・心理職によるサポートが欲しい」という願いを受け止めた担当看護師と夫により1996年に設立され、現在で

は英国も含めて世界で30カ所近くできています。その中で初の日本センターとして2016年10月豊洲6丁目にオープンしたのがNPO法人「マギーズ東京」です。
医師に治療方針は相談できるけれども時間が限られていて聞きたいことが聞き足りない、もやもやした気持ちを整理したい、などさまざまな悩みに「医学的知識を持った友人」のように解決をサポートするのが、

マギーズセンターのコンセプトです。がん患者だけでなく、家族や友人でも相談したい人には予約不要かつ無料で開放し、看護職や心理職のスタッフが相談に乗ってください。すべて寄付による運営となっています。ですが、グッズ販売、イベント開催ボランティア研修などを企画してその売り上げも運営に充てています。豊洲にオープンすることになったのは、2020年まで限定ではあり

ますが豊洲6丁目の土地を借りられたことによるそうです。木材をふんだんに使った建物を建てるのがマギーズを名乗る条件の一つであることも、木場・新木場を有した江東区との縁を感じます。建物に使用している木材は地元企業などから寄付されたものも使われ、また開所式の際には、木場の木遣の披露もあったそうです。

場所はゆりかもめの市場前駅下車徒歩3分のマイヒレッジの横にあり、都バスの停留所やコミュニティサイクルのポートも近くにありますが、通りかかりにふらっと立ち寄って悩みを相談するもよし、寄付をするもよし、秋山さんやスタッフの皆さんとお話したら、とても心が温かくなることが間違いなしです。



みなさんとともに
スタッフの
活動中です

「マギーズ東京」共同代表理事
センター長

秋山正子さん
(写真中央)

看護師、保健師、助産師。訪問看護の現場で対応が難しい問題を解決する新しい場として2008年からマギーズセンターを日本に設立することに尽力
マギーズ東京

TEL03-3520-9913

江東区豊洲 6-4-18

<https://maggiestockyo.org>

開館時間 月～金 (10:00～16:00)

Column

江東区で川遊びを楽しむ

担当：青木



豎川河川敷公園カヌー・カヤック場
(豎川河川敷公園提供)



2017年7月に一部開園した豊洲ぐるり公園には、水陸両用バスが着水・上陸できるスロープも整備され、9月から運行が開始しました。今、話題の湾岸エリアを周遊でき、水辺を楽しむスポットの一つになっています(江東区広報広聴課提供)

江東区が力を入れているスポーツの一つにカヌーがあります。2020年東京パラリンピックの競技会場も区内に出来る予定です。パラリンピック選手として活躍している区民の方もいます。現在江東区にはカヌー倶楽部が亀戸・大島・深川・そして今年8月には砂町にも誕生しました。

個人の方が利用できる施設は3つあります。亀戸スポーツセンターと深川スポーツセンターでは講習会が開かれています。それぞれのスポーツセンターが主催する「カヌー安全講習会」に参加すると修了カードが発行され、カヌー一般公開(亀戸)またはカヌーツアー(深川)に参加することができます。また豎川河川敷公園カヌー・カヤック場には道具が完備され、指導員がいるので指導が受けられます。開催期間はホームページをご確認ください。

豎川河川敷公園WEBサイト

<http://www.tatekawa-park.com/>

Column

豊洲文化センター発

みんなのミュージカル ホンク! 2017公演レポート

8月11日・12日、豊洲シビックセンターホールにて「みんなのミュージカル ホンク!」を開催しました。これは2015年9月の豊洲シビックセンターオープンに合わせて豊洲文化センターも移転したことをきっかけに、新しく始めた区民参加型ミュージカルです。「本格ミュージカルに出演しよう」をコンセプトに、オーディションを経た小学生から大人まで29名が、前年10月から稽古を重ねプロの俳優とともに舞台上に立ちました。

今回の主演(ダブルキャスト)に選ばれた江東区在住の2人に感想を聞きました。
「興味本位で始めた『ホンク』でしたが1年間でミュージカルが大好きになりました!」(服部泰河くん・中3)
「私はこの役ができて嬉しかったです、こんな機会をもらったことに感謝しています」(大日方奏媛さん・中2)



アンデルセンの「みにくいアヒルの子」を原作としたロンドン生まれミュージカル



次回は2018年8月24日(金)・25日(土)の本番に向けて、すでに11月から稽古が動き出しています。今後もぜひこの公演にご注目ください。



青木愛 東陽在住

マンホールカードが静かなブームになっているそうです。下水道を市民の方に親しんでもらう為に企画制作されたご当地カードです。有明にある東京都虹の下水道館でも2017年4月から配布されるようになりました。入手してみたいかがでしょうか？



今井直子 亀戸在住

今回新しきを学ぶ人生最終地点としての挑戦でした。先生や事務局の優しい支えや山口さんのアドバイスありがとうございました。里山、蜂蜜、緑豊かな自然、我が街豊洲にぶらり出かけたくなりました。撮影マニュアル、原稿起こし、見出し文等貴重な体験となりました。皆様方との出会いに感謝！

太田信永 豊洲在住

豊洲ってどんな街なんだろう。住んでいる人、そうでない人にも同じ質問をしてみたい。こんな素朴な投げかけから一冊の雑誌を編んでいく作業が始まった。さて、あなたは、どのように感じたでしょうか？

小田中雅子 豊洲在住

この夏、汗だくで自転車に乗って取材に走り回ったことは、忘れられない思い出になりました。豊洲に住んで9年。ミニコミ誌作成を通じて、知らないことがたくさんあることに気づかされました。これからも、自転車での街のあちこちを探検したいと思います。

上村伸二郎 豊洲在住

深川祭りの神輿を担ぐ人の中には外国人もいて、伝統のお囃子を習うことも達の中には現代的なタワーマンションに住む子も多いそうです。多様性と新旧が共存するサラダボウルのような町。それが、今回の編集を通じて私が発見した、豊洲の最大の魅力でした。

北村典子 越中島在住

新豊洲という地名はありません。ゆりかもめの駅名です。草がボウボウとした土地です。人も行き交っていません。たくさんの方が行き交う賑やかな新しい豊洲に変わって欲しいです。

田代美樹 豊洲在住

取材を通して今豊洲が自然環境循環型社会になる分岐点に立っている事を痛感しました。それには自然な樹形を限りなく残しながら管理をする事が重要だと思います。公園の伐採後どんぐりがすべて無くなってしまっているのは残念でした。過ぎたるは猶及ばざるが如し

林恵 豊洲在住

今年も素敵な方々との出会いや新しい発見がありました。次々と変わっていく豊洲の今を市民の目で記録する、という楽しみにすっかり魅了されました。来年の豊洲はどうなっているでしょうか？

山口悦子 亀戸在住

ご協力頂いたみなさま、ありがとうございます。振り返り、記録的な長雨の8月は「せめて撮影の日は曇」と空を見ていました。こうした一つ一つの積み重ねで完成した冊子です。豊洲がそして江東区が「未来も住みやすい街、また来たい街」であるようにと思います。

ミニコミ誌「ぶらり豊洲」 2017年12月1日発行



【編集・発行】

公益財団法人

江東区文化コミュニティ財団 江東区豊洲文化センター

〒135-0061 東京都江東区豊洲2-2-18 豊洲シビックセンター 8階

TEL 03-3536-5061 FAX 03-5560-0505

URL <https://www.kcf.or.jp/toyosu/>

デザイン・印刷 株式会社リビングくらしHOW研究所 LETS

本誌に関するご意見・お問い合わせは豊洲文化センターまでお願いいたします。

本誌掲載の記事、写真、イラストの無断複製、転写、転載を禁じます。

※掲載内容およびデータ等については特別に記載がない限り2017年10月末日現在のものです。

情報内容は変更される場合があります